

褥瘡発生率

QI項目の解説

入院されている患者さんのうち、新規に褥瘡が発生した割合を示しています。

褥瘡とは、寝たきりなどによる体重で圧迫される場所の血流が悪くなったりすることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的には「床ずれ」ともいわれています。

褥瘡発生率は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つになっています。

本指標では、より低い値が望ましいとされています。

〈Depth（深さ）〉

d0：皮膚損傷なし・発赤なし d1：持続する発赤 d2：真皮までの損傷

D3：皮下組織までの損傷 D4：皮下組織を超える損傷 D5：関節腔、体腔に至る損傷

DU：深さ判定が不能の場合

QI指標の定義・計測方法・グラフ

分子：調査機関における分母対象患者のうち、
d 2以上の褥瘡の院内新規発生患者数

×100【%】

分母：入院延べ患者数

